



兵庫県立篠山東雲高等学校			
〒 669-2513 兵庫県篠山市福住 1260 ☎ 079-557-0039			
活動団体	特産で eco and smile		
主な活動時間	休み時間や放課後	活動人数	8人
最終審査会発表生徒	中川 義晶(3年)、島端 祐基(3年)	担当教諭	菊川 裕幸

山の芋グリーンカーテンで GOOD ★ LIFE

【目標・今後の計画】

山の芋グリーンカーテンの蒸散効果を用い、篠山市内の使用電力量を削減し市内全体の節約を行う。山の芋グリーンカーテンを新たな篠山市の生活の糧として市内に普及させ、生産面積や収量に伴って減少し続けている山の芋の知名度を回復させ、地位を向上させる。

今後は、簡易に山の芋グリーンカーテンに取り組んでいたけりような商品を開発し、JAや地元企業と連携していく。



【活動内容】

篠山市の環境課と連携し、市内の全小中学校（今年度は19校、約3000人の児童・生徒にPR）や全幼稚園、保育園（14園）に赴き山の芋グリーンカーテンの講習会を行い、山の芋の成り立ちやグリーンカーテン化した理由、効果などに始まり栽培管理、水管理、収穫適期、調理方法に至るまで様々なことを教えています。

普段はその山の芋ウィルスフリーを大量生産し、世界に1つだけの山の芋グリーンカーテンをたくさんの人に取組んでもらえるよう日々研究しています。研究内容はウィルスフリーの有効性の検証や、節電効

果など。今年度は上述したように、市内各所にカーテンを設置していただき、市内で約40万円の節電効果が試算されました。

また、収穫した山の芋を親子との食育イベントに使

課題と仮説

でも、ウィルスフリーってずっと保たれるの？もしもウィルスに罹ってしまったら？

1 ウィルスフリーの有効性はどの程度か？
→再感染した場合、効力はあるのか

実験：ウィルス検定によって感染の有無を確認する。

課題と仮説

本当にエコなの？あと・・・どんなメリットがあるのかわからないわ。やったこともないし。

2 山の芋グリーンカーテンのエコ効果や機能性を検証する。

実験：温度測定、節電効果検証、ストレス測定

課題と仮説

「誰でも簡単に取組んでもらう」ためにはどうすればいいのかな？普及拡大のために、篠山のために。

3 みんなに取組んでもらえ、PRするためには？普及させるためには？

活動：講習会やイベント企画＆参加

最終 山の芋を通じてエコ活動を推進する！

用するなど、環境と食育、生活をつなげる活動を展開しています。篠山市民の約5人に1人は私たちの活動に協力、関与していただいています。

詳細としては、市民向けの山の芋グリーンカーテン講習会。この講習会には環境問題に興味を持っている市民の方や農家の方など、様々な方に参加していただいています。(今年度は30名)また、親子の食育講座として200人を対象に、私たちが山の芋グリーンカーテンの効果(節電効果や緑の癒し効果)をプレゼンし、頑張っ育てた山の芋を収穫して親子で調理して食べてもらうところまでを解説しました。また、それ以外にも栽培キット300セットを無料配布しました。次に、私たちの活動は「広報篠山」や農業クラブの機関紙「リーダーシップ」にも掲載され、篠山市内だけでなく、日本全国に広がりました。

今年度は、市内の農家やJAと連携し、全世界に1つだけ!「篠山の芋グリーンカーテン栽培キット」の開発を進めています。ここで使用する山の芋は上述し

たようにウィルスフリーであるため、葉面積がアサゴオやゴーヤよりも大きく(1.5~2倍)グリーンカーテンとして非常に有効性が高いものとなっています。

【成果・実績】

カーテンの有効性について検証したところ壁面温度は15℃、室内温度は2℃減少しました。

また、私たちの使用する山の芋は葉が大きく、生育期間が長く被覆率や節電効果が高く篠山の夏季の生活を快適にしました。

また、この山の芋グリーンカーテンは、市内全小中学校、全保育園幼稚園ほか市役所の庁舎などに設置されており、この活動は市内全体を巻き込む活動となっています。篠山で生まれた子供は、必ず、山の芋のグリーンカーテンを見て育ち、それを食べて育つといった状況にまで拡大しています。

また、今年度の環境省主催、グッドライフアワードでは審査員特別賞を受賞しました。



●活動にあたり創意工夫したこと

市民誰もが取り組める活動にした。とにかく簡単に、楽しく、継続的に行えるようにしました。例えばパンフレットを見やすくする、プランターを扱いやすく改造する……など。

●活動の際に苦労したこと

小学校や保育園・幼稚園での講習会の際の表現といったもので、例えば施肥、灌水、摘心といった専門用語は当然のこと、酸素、肥料といった一般的な表現も理解できない場合もあるので灌水は水やり、肥料は食べ物や栄養と表現を平易にすることです。

活動の環をを広げよう 出場者からの提言

◎私たちが取り組んでいる山の芋グリーンカーテンは、篠山市の特産品を広めるため、またエコ活動の推進のために行っている活動です。最初は苦労したことも多かったですが、いまは徐々に広がりを見せています。みなさんもぜひ身近な植物で、グリーンカーテンを実施してみてください!
(中川 義晶・男・3年)

◎私たちはこの活動を通じて、たくさんの子供たちや市民の皆さんと交流することができました。そのなかで生まれたアイデアや、活動の改善点はとても参考になるもので、私たちの活動の後押しにもなりました。とにかく、失敗を恐れずいろいろなところに行き、講習会もしました。皆さんも挑戦し続けてください!
(島端 祐基・男・3年)